



橋北中学校だより

令和7年7月18日(金)

第4号 文責:奥田
津市立橋北中学校

1学期の締めくくりに寄せて

1学期が終わろうとしています。みなさんにとって、どんな1学期だったでしょうか。

72日間の1学期には、さまざまな活動や行事が行われました。体育祭では、学年を越えて上級生が下級生を応援し、その姿に感動した下級生が「自分たちも」と力強く声援を送る姿が見られました。仲間や先輩の姿に刺激を受けて成長していく皆さんの姿に、今年も胸が熱くなりました。



3年生の沖縄修学旅行では、戦跡や資料館を訪れました。ガイドの方の話や展示資料を通じて、改めて平和の大切さに気づき、平和への思いを深めることができたのではないのでしょうか。また、昨年度から取り組んでいる探究的な学習では、沖縄の自然や文化に触れながら課題を発見し、それを身近なテーマへとつなげ、新たな行動へと結びつけようとしています。3日間の旅を通して仲間と交流し、多くの会話を重ねる中で、互いの良さや個性にも気づけたことでしょう。



2年生は、昨年度に続いて白山町上ノ村での職場体験学習(農業体験)に参加しました。仲間と協力しながらひとつのことをやり遂げる経験は、その大切さを実感する機会になったと思います。この活動では、稲作の体験だけでなく、地域で活動されている方々との出会いから多くの学びを得ました。その言葉を受けて、自ら考え、行動することの大切さにも気づけたのではないのでしょうか。この学びがさらに深まっていくことを期待しています。



1年生は避難訓練に加え、MieMu(三重県総合博物館)での探究的な学習に取り組みました。各自が展示を見るだけでなく、「三重県の人口減少を食い止めるにはどうしたらよいか」というテーマをもとに調査・研究を行い、学びを深めようとしています。一生懸命メモを取りながら見学している姿から、今後どんな探究が進められていくのか楽しみます。

学年ごとの行事を通して、どの学年でも「探究すること」に取り組んでいます。2学期の文化祭などでは、その成果を保護者や他学年の皆さんに発表する機会があると思います。ぜひご期待ください。

これからの時代は、予測困難な未来と言われています。そうした中で、自分の未来や社会の在り方を自分事として考え、目標を設定し、それに向けた変化を実現する力が求められています。さらに、仲間と協働して課題解決を進める力も大切です。こうした力を、授業や行事を通して、少しずつ身につけていってほしいと願っています。

さて、もうすぐ44日間の夏休みです。みなさん、一度1学期を振り返ってみてください。できるようになったこと、うまくできなかったこと、それらをどう2学期につなげていくか考えてみましょう。良かったことはさらに伸ばし、課題はどう克服していくか方法を考え、実行してみましょう。何よりも、健康・安全が大切です。休養をとりつつ、毎日を安全に過ごしてください。健康管理や登下校時の交通安全にも十分に注意し、元気に2学期を迎えましょう。

保護者・地域の皆さま、日頃より、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。これからも学校・家庭・地域が互いに支え合いながら、子どもたちの成長を育んでいけるよう、温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

70年目の慰霊の日を迎えて

昭和30年（1955年）7月28日、橋北中学校の水泳訓練中に発生した水難事故では、36名の尊い命が失われました。

当時、学校にプールが整備されていなかったことから、橋北中では近隣の海を使って水泳訓練を実施していました。訓練当日は、約400名の生徒と20名の教職員が参加。午前10時ごろ、突然発生した異常な波により、およそ100名の生徒が海に流されるという深刻な事態となり、痛ましい事故へとつながってしまいました。

事故が起こった海岸の近くには、犠牲者を悼む慰霊碑「海の守り」が建立されています。毎年7月28日を「慰霊の日」と定め、生徒・保護者・教職員の代表が参列し、慰霊祭を行っています。今年も事故から70年を迎える節目として、生徒代表とPTA本部役員が慰霊碑周辺の清掃と献花を行い、命の尊さに改めて思いを寄せたいと思います。

この事故の直後、心に深い傷を負った生徒たちを励ますために制定されたのが、現在の校歌です。とくに2番の歌詞には、その願いや思いが込められていると伝えられています。普段終業式で歌う校歌ですが、今年の式ではその意味を深くかみしめて歌ってほしいという願いから、斉唱の順番を変更して式を行いました。

70年という歳月を越えてなお、私たちはこのことを語り継ぎ、命の尊さを心に刻みながら、日々を大切に過ごしていきたいと思います。



作詞 樋田 清砂 作曲 伊東 功

ああ橋北のわが誇り
流れ尽きせぬ塔世川
幸あれここに我等つどう
誠は通う友情に
誓いもかたく手をとりに
ああ橋北のわが決意
磯波砕く安濃の浦
幸あれここに我等つどう
揺がぬ心胸張りて
力みなぎる苦難にも
ああ橋北のわが理想
かすむ山なみ経ヶ峰
希望はもえて若き血に
幸あれここに我等つどう
眉あげ行手見遙かす

水難事故防止教室を開催

夏休みを前に、津市中消防署より講師をお招きし、水難事故防止教室を開催しました。

今年度、本校ではプールの老朽化により水泳の実技授業を実施できなくなったため、保健体育の授業では、座学による水難事故防止の学習や、動画を活用した泳法の確認など、知識面からの学びを進めています。

今回の教室では、日常に潜む水の危険性や万が一の際の対処法について、実例を交えながら分かりやすくご指導いただきました。生徒たちにとって、夏を安全に過ごすための意識を高める貴重な機会となりました。



この日の模様はNHKで放映されました。

